

『はじめにコトバありきか！』

1

はじめに コトバありきか！



トコバ
絵文字
で漢字音で
『宮下元』

2022年
横浜歴史研究会
宮下 幻

横歴研会報
82号・83号
に掲載した、
歴史幻想エッ
セイの内容を
紹介したい

山崎 雄矢



3

史記:『太史公書』



中国の正史。著者は司馬遷
前漢の武帝の時代。
紀元前91年頃完成。
伝説上の黄帝から
前漢の武帝まで記述。
李陵を弁護したゆえに
無実で紀元前98年に宮刑。
甲骨文字の発掘で、史記の
古代殷の記述が合致。

史記序
太史公之紀事與左氏傳相並蓋史
學之原委也左氏則據例發義以定
褒貶司馬氏則據事錄實錄實則兼
賅亦見矣故史記自費帝於子天漢
半世綿遠傳聞莫辨英論上古書

2

敬聴(傾聴)はコミュの1歩目

◆コトバは心を通わせ合うツール

私は、今、傾聴活動をしており、言葉とコミュニケーションに興味がある。『傾聴』とは人間の心(感情・理性)をありのままに敬って聴くもので、私は『敬聴』と称している。

『敬聴』はコミュニケーションの第一歩目である。まずは、お相手の気持ちを受け止めることだ。否定肯定評価せずに。

『コミュニケーション』とは、心や要件要望を通じ合わせ協力し合うことである。そして、コミュニケーションのツールが言葉(音声と文字・記号)である。

とはいえ、『コトバ』は単なる効率化ツールと捉えるべきではなく、心を通わせ合うツールと捉えたい。


では、コトバの成立ちとは何か？ 先ず、文字から追ってみた。

4

漢字の起源は白川氏が解明

- ・商国(殷)3500年前。占い国家(王の行動占い)
- ・『甲骨文字』(神聖文字)を発明。
- ・神への占いを記録。秘密文字。
- ・亀甲や骨を焼いてヒビで占う。
- ・甲羅に線刻なので直線的文字
- ・『口』は、顔のクチではなく、占いの祝詞を入れる器(サイ)。
- ・祝詞(のり)が入ったのが『占』。
- ・『品』の字は重要な占い結果。
- ・青銅器に文字を記す(『金文』)。
- ・他民族国家には表意文字が有効
- ・秦始皇帝が文字統一化:『篆文』(篆書体・小篆)BC221年~

常用字解



白川静

皇皇

平凡社

1.

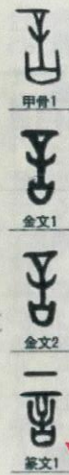
『はじめにコトバありきか！』

5

漢字の言とは コトバとは 神への誓約の祈り

【用例】 言外 ことばの表現をこえる部分 / 言及 話を進めて行つて、その問題にふれること / 言語 ことば / 言行・言動 ことばと行動 / 言論 議論 / 発言 意見をいうこと / 無言 物をいわないこと

【解説】 会意。古い字形は辛と口とを組み合わせた形。辛は刑罰として入れ墨するときに使う把手のついた大きな針の形。口は口で、神への祈りの文である祝詞を入れる器の形。口の上に辛を置き、もし誓約を守らないときにはこの針で入れ墨の刑罰を受けますというように、神に誓いをたてて祈ることばを言という。それで言は「神に誓うことばをいう、いう、ことば」の意味となる。



言 7画
ゲン
イウ
コト
コトバ

てんぶん:
秦代の統一漢字

『常用字解』
白川静著より

7

シャンポリオンの執念



- ・フランス革命～ナポレオン三世の激動の政変にめげず！ 研究続行
- ・兄の庇護・支援で二人三脚
- ・子供の頃の夢の実現を貫く
「古代世界・人類の起源」の解明
「ヒエログリフ」の解読
- ・類まれな多言語能力(12カ国語)
- ・現地主義: 念願のエジプト旅行、精密写生重視(急速劣化中)。
- ・ライバルの執拗な嫉妬・誹謗・中傷を論破
- ・正論主義だが、キリスト教には刺激せず
- ・病弱と疲労で若死。兄が引継ぐ。

ジャン・フランソワ・シャンポリオン、1823年。手に持っているのは「ダシエ氏への書簡」中のヒエログリフ表

6

ヒエログリフの解読ドラマ

ナポレオンが発見
(1799年)

英国に奪われる

解読競争
20年後シャンポリオンが解読成功
(1822年)



ロゼッタストーン 復元予想図

かなり欠けていて、かつ劣化が激しく正確な解読にはむかなかった

内容は、紀元前196年にプトレマイオス5世がメンフィスで出した勅令

1922年ツタンカーメン墓発見
今年2022年が解読200年
出典: ヒエログリフ(m-matsu.com) Minoru Matsumura

8

ヒエログリフとは

1. 聖刻文字。神官文字: 神官しか読み書きできず。
2. 簡略したのが、ヒエロティック文字(日常用)。更に大衆が真似たのがデモティック文字。
3. エジプト王朝は、宗教心が篤く、神官の権限も絶大
4. 宗教は、多神教。一時アテン神一神教(アクエンアテン)。死後の再生を望み、ミイラ化し、王墓を残す。墓やお棺はヒエログリフで記載(飾る)のがルール
5. 絵文字で表意文字。文字数は700～1500以上。
6. 他民族王に支配されても、宗教は維持された。
7. 最後のプトレマイオス朝はギリシャ人系。外国語王名を示すのに、表音文字を代用
8. クレオパトラ7世の死後、五百年後には誰も読めない最後のヒエログリフは、AD394年フィラエのイシス神殿内

『はじめにコトバありきか！』

13

ヒエログリフの解読4

問題
誰だかわかりますか？
有名なファラオ

太陽ラー神

ラムセス

誕生させたメセスウ

折り布表音S

朱鷺:トト神
ヒエログリフ発明神

トトメス

アブ・シンベル大神殿にあったカルトウーシュ

出典: 『Newton』2008年5月号77ページのルーツ

14

クフ王のヒエログリフ表記

古王朝前半(BC26世紀)のエジプト第4王朝の第2代王(BC2589~2566年頃)
当時はホルス名表記が多い。正式な形ではクヌム・クフ
[[ˈknuːmˈkuːfuː] KNOOM-koo-foo 我はクヌム神に守護されている)
クヌムは、人間を創造した神、水源の管理者

ホルス(名)

クフのホルス名: メジェドウ(Mejedw) ホルス神の化身...生存当時の名

月?:k、ウズラ:u、つの蛇:f、ウズラ:u

出典: フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』クフ王

15

古王朝の王名

図2 第1王朝王名一覧(「ホルス名」「ネスウ・ピト」「ネプティ」の称号)

BC3100~2890頃

ホルス(名): 天空神、隼の姿

ネスウピト名の出現

古王朝(BC31世紀)のエジプト(BC3100~2185頃)
最初はホルス名表記が多い。
第6王朝にはネスウピト名。

3千年間、継続された文字体系

サーラー名

パン:t
葦羽:i(e-y)

カルトウーシュの出現

図3 第6王朝王名一覧(「ネスウ・ピト名」「サーラー名」のカルトウーシュ表記)
BC2345~2185頃

出典: 『神聖視される王の身体』早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 2011年度修士論文青木美子

16

ヒエログリフの表音文字

	A	B	C	CH	D	E	F	G
折り布り 発音s								
	ゾブトハワツ	隼と足	折りたんだ布	赤雲をつなぐ繩	手	蓮の穂	フノムシ	壺を置く
	H	I	J	K	L	M	N	O
	蓮の小葉	蓮の穂	コブラ	把手付のかご	ライオン	フクロウ	さざ波	掛け繩
	P	Q	R	S	SH	T	U	V
	マット	砂丘の斜面	口	折りたんだ布	港	ロールパン	ウズラのヒナ	隼と足
砂丘 表音ku	W	X	Y	Z				
	ウズラのヒナ	会釈の顔	蓮の穂二つ	かんぬき				

出典: フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

4.

『はじめにコトバありきか!』

17

アルファベットの起源はヒエログリフか

「A」はもともと「牛の頭」だった!?

ワディ碑文はエジプトに居た外国人の文字

「雄牛の頭」ヒエログリフこの段階では「カー」と発音

「アルプ (alep)」ワディ・エル・ホル碑文の文字

「アレフ (alp)」原シナイ文字

「アレフ (aleph)」フェニキア文字

「アルファ (alpha)」ギリシア文字

ラテン文字・英語も同形。牡牛は「A」

記事中に登場した「A」を時代順に並べた。しだいに簡略化されていくようすがわかる。

簡略化。左90°回転

簡略化。左90°回転

出典: 『Newton』2008年5月号アルファベットのルーツ

19

表意文字はアルファベットに淘汰

- ・表音文字(アルファベット他)はどんな複雑な発音や文章も表せる。
- ・表意(絵)文字は書くのが手間。簡易化したら記号化で、意味が掴みにくい
- ・表意文字は、常に統一・統制が必要。
- ・他の民族は、表意文字を覚えきれない。
- ・使い易い記号化済文字を自国語に流用した。
- ・その国・民族が減びると表意文字も廃れた。

18

アルファベットの起源...ヒエログリフか?

英語 仏語・独語・ロシア語 スペイン語 などへ

ラテン文字 (ローマ)へ

ギリシャ文字や エトルリア(伊半島)文字に

「周縁」で生まれ伝わった音素文字

フェニキア文字

西岸地区 West Bank

ヨルダン

イスラエル

エジプト

ワディ・エル・ホル文字

原シナイ文字

エジプトの周縁に居た外国人労働者の文字

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

20

古代文字からわかったこと

- ・古代文字の解読によって、5500年前の事を知ることができる。
- ・漢字と史記や ヒエログリフとピラミッド建設からわかったことは、

古代人は現代人と変わらない知性と能力を既に持っていた。

21

はじめにコトバありきか！

新約聖書ヨハネ伝福音書ではないが

『**初めに言(ことば)があった**』
である。

「IN the beginning was the WORD, and the WORD was with GOD, and the WORD was GOD.」・・・英語版聖書『ヨハネの福音書』

<注記: 本来はギリシャ語で

「アルケー(根源・原理・始源)はロゴス(真理・理由・言葉・イエスの御言)なり」⇒

「イエスの言葉が全て！」の意味らしい>

23

コトバ・コミュニケーションの進歩1

ヒエログリフは複雑・高度で、かつ、
約3千年間も、大きな変化なしに使い
続けられた驚異の文字だった！！

第1王朝: BC3125
クフ王: BC2589
ツタンカーメン: BC1341
ロゼッタ石: BC196
クレオパトラ7世死: BC30

ツール	コミュニケーション ツールの内容	備考	時期
鳴き声(表意音)	表意音・当初の声(鳴き声)。危険連絡や恋など動物の鳴き声である。	動物	
ことば(音声単語)	音声単語の出現・・・単語とは複数音声の組合せ。直立二足歩行で喉開放・声帯発展、脳の発展、手の使用。	猿人	
口述文章	音声文章(口述文)の発明・・・単語(&助詞)の組み合わせで無数の言い回しが可能になった。空間・時間認識も表現可能。自我の芽生え。概念(虚構)言語を発明。	新人類 エースー エー 類) 認知のビッグバン	6万年前?
表意文字(絵文字・象形文字)	表意文字(絵文字・象形文字)の発明: ヒエログリフ&楔形文字	エジプト・メソポタミア	BC3500頃
	漢字『甲骨文字』の発明。	中国の商国(殷)	BC1500頃
	古代エラム文字、クレタ文字、ヒッタイト象形文字、インダス文字、マヤ文字 (漢字以外の表意文字は淘汰された)	中近東・地中海・インド 南米マヤ 文明	BC以前 AD292~887頃

理由: ヒエログリフは、
①王権の権威維持 と
②死後再生信仰 の為に
神官団が守り続けたから!
→ローマ征服で終わる

22

技術進歩の要因は文字言語

- ・直立・二足歩行で、**手が使える**(700万年前)。
喉の開放で、口蓋・喉咽・声帯・舌が進化。
- ・手で様々なツール(道具)を作り使いこなす。
- ・コトバでコミュニケーション。
助け合って狩りや生活(作業分担)
- ・コトバ&文字もツール。
- ・文字で**正しく広く&後世**にも伝達できる。
- ・文字の発明からたった5500年で、
最新技術(兵器)が誰でも作れる時代に!

24.

《引用・参考文献》

- ・フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』
- ・『私の中国史(古代編)』 粟光行著 自費出版
- ・『常用字解』 白川静著 平凡社2003年 ¥2,800
- ・『ロゼッタストーン解説』 アドキンス夫妻著、木原武一訳、新潮社
- ・Newton誌 2008年5月号『アルファベット4000年のルーツ』
ニュートンプレス社
- ・『ホモ・サピエンス全史(上)』ユヴァル・ノア・ハラリ著
- ・『人類誕生』NHKスペシャル(2018/4~放送)
- ・『ラスコー展』: 国立科学博物館2016/11/1~2017/2/19
- ・ヒエログリフ Matsumura's Home page
- ・『神聖視される王の身体』 早稲田大学 修士論文 青木 美子

アビラマベットの推移 (推測)

ヒエログリフ	原シナイ・カナン	腓字	フェニキア文字	ギリシア文字	エトルリア	ラテン(ローマ)	英語	ヒエロ(人名)	ラテン
𐎠 (m)	牝牛 (m)	𐎠	𐎠 牝牛	𐎠 母	A a	A	A	𐎠 (m)	A a
𐎡 (p)	𐎡 家	𐎡	𐎡 家	𐎡 母	B b	B	B	𐎡 (p)	B b
𐎢 (qm)	𐎢 家	𐎢	𐎢 家	𐎢 母	C c	C	C	𐎢 (qm)	C c
𐎣 (m)	𐎣 家	𐎣	𐎣 家	𐎣 母	D d	D	D	𐎣 (m)	D d
𐎤 (r)	𐎤 家	𐎤	𐎤 家	𐎤 母	E e	E	E	𐎤 (r)	E e
𐎥 (q)	𐎥 家	𐎥	𐎥 家	𐎥 母	F f	F	F	𐎥 (q)	F f
𐎦 (m)	𐎦 家	𐎦	𐎦 家	𐎦 母	G g	G	G	𐎦 (m)	G g
𐎧 (n)	𐎧 家	𐎧	𐎧 家	𐎧 母	H h	H	H	𐎧 (n)	H h
𐎨 (m)	𐎨 家	𐎨	𐎨 家	𐎨 母	I i	I	I	𐎨 (m)	I i
𐎩 (n)	𐎩 家	𐎩	𐎩 家	𐎩 母	J j	J	J	𐎩 (n)	J j
𐎪 (m)	𐎪 家	𐎪	𐎪 家	𐎪 母	K k	K	K	𐎪 (m)	K k
𐎫 (n)	𐎫 家	𐎫	𐎫 家	𐎫 母	L l	L	L	𐎫 (n)	L l
𐎬 (m)	𐎬 家	𐎬	𐎬 家	𐎬 母	M m	M	M	𐎬 (m)	M m
𐎭 (n)	𐎭 家	𐎭	𐎭 家	𐎭 母	N n	N	N	𐎭 (n)	N n
𐎮 (m)	𐎮 家	𐎮	𐎮 家	𐎮 母	O o	O	O	𐎮 (m)	O o
𐎯 (n)	𐎯 家	𐎯	𐎯 家	𐎯 母	P p	P	P	𐎯 (n)	P p
𐎰 (m)	𐎰 家	𐎰	𐎰 家	𐎰 母	Q q	Q	Q	𐎰 (m)	Q q
𐎱 (n)	𐎱 家	𐎱	𐎱 家	𐎱 母	R r	R	R	𐎱 (n)	R r
𐎲 (m)	𐎲 家	𐎲	𐎲 家	𐎲 母	S s	S	S	𐎲 (m)	S s
𐎳 (n)	𐎳 家	𐎳	𐎳 家	𐎳 母	T t	T	T	𐎳 (n)	T t
𐎴 (m)	𐎴 家	𐎴	𐎴 家	𐎴 母	U u	U	U	𐎴 (m)	U u
𐎵 (n)	𐎵 家	𐎵	𐎵 家	𐎵 母	V v	V	V	𐎵 (n)	V v
𐎶 (m)	𐎶 家	𐎶	𐎶 家	𐎶 母	W w	W	W	𐎶 (m)	W w
𐎷 (n)	𐎷 家	𐎷	𐎷 家	𐎷 母	X x	X	X	𐎷 (n)	X x
𐎸 (m)	𐎸 家	𐎸	𐎸 家	𐎸 母	Y y	Y	Y	𐎸 (m)	Y y
𐎹 (n)	𐎹 家	𐎹	𐎹 家	𐎹 母	Z z	Z	Z	𐎹 (n)	Z z

参考文献

Albright, William F. (1966). *The Proto-Sinaitic Inscriptions and their Decipherment*. Harvard University Press. ISBN 0674718518

ラティ・エム・ホル文字と原シナイ文字 - Wikipedia

Handwritten notes and symbols at the bottom of the page, including a large '7.' and various symbols like 'P, P', 'X', 'Y', 'Z', 'A', 'B', 'C', 'D', 'E', 'F', 'G', 'H', 'I', 'J', 'K', 'L', 'M', 'N', 'O', 'P', 'Q', 'R', 'S', 'T', 'U', 'V', 'W', 'X', 'Y', 'Z'.

<コトバとコミュニケーションの進歩(歴史)>

ツール	コミュニケーション ツールの内容	備考	時期
鳴き声(表意音) ジェスチャー	表意音: 当初の声(鳴き声)。危険連絡や恋など動物の鳴き声(単語)や身振りである。	動物・ 類人猿	魚4.5億年前、 陸上3.9億年
ことば(音声単語) 単文(単純口述文)	多彩な音声単語の出現...多彩な複数音素の組合せが単語。直立二足歩行で喉開放・声帯発展、脳の発展、手の使用。単純な文章は話せた。	猿人 旧人(原人)	700万年 前 250万年 前?
口述文(複文・文章) 入れ子構造文 自由構文 概念語	複雑な音声文(口述文)の発明...単語(&助詞・接続詞)の組み合わせで多彩な言い回しや入れ子構造文が可能になった。空間・時間認識も表現可能。自我の芽生え。 概念(虚構)を発明。	新人(=ホモ・サピエンス=現生人類) 知恵のヒツギバツ	30万年前?~ 6万年前?: 認知革命
表意文字 (絵文字・象形文字)	表意文字(絵文字・象形文字)の発明: ヒエログリフ & 楔形文字 漢字『甲骨文字』の発明。	エジプト & メソポ タミア	BC3500頃
表音文字	古代エラム文字、クレタ文字、インダス文字、ヒッタイト象形文字、マヤ文字 (漢字以外の表意文字は淘汰された) 表音文字の発明: ヒエログリフの表音文字(子音のみ) クナイ・エル・ホル文字...エジプト在の外国人が使用 原シナイ文字 フェニキア文字...原シナイ文字から派生した文字を借用した。22文字 ギリシヤ文字 ...フェニキア文字を借用。24文字 ラテン文字...ギリシヤとエトルリア文字を借用 当初20字→26字 万葉仮名(漢字)、 片カナ(AD800頃)、平かな(AD900頃) ヘボン式ローマ字...日本語音のローマ字表記 (ラテン語)。ヘボン氏が考案 ハンデル文字...母音・子音を記号化し、その組合せで発音を示す。ロジカルな表音記号文字 拼音(ピンイン)... 中国語音のアルファベット表記 紙(含む羊皮紙・パピルス・竹)・筆記具(ペン)・墨 や絵の具の発明	中国の商国(殷)	BC1500頃
		中近東・地中海・インド	BC以前
		南米マヤ 文明	AD292~887頃
		各地の民族に伝播・転借用	BC数千年前
		カナツン人他	BC19~18世紀
		カナツン人、 シナイ半島	BC17~15世紀
		レバノン~ トルコ・地中海	BC10世紀~
		ギリシヤ	BC9世紀~
		ローマ→西欧	BC7世紀~AD10世紀
		日本、万葉集	AD6~7世紀~
日本	1867年		
李氏朝鮮	1443年		
中華文化圏	1958年~		
各地の民族に伝播	文字発明と一緒に 進歩		
紙と筆記具			
印刷技術	印刷・出版(■□)技術の発明 活版印刷技術は1445年グーテンベルクが発明。	活版印刷技術	1445年
コンピュータ、 ワープロ、 スマホ、 タブレット	コンピュータの発明、文字のデジタル化(二進数表現)。ネット通信。プリンタ印刷。 各種ネットコミュニケーション。電子メール、SNS(ソーシャルネットワーキング)、Twitter、Instagram、FACEBOOK、LINE、TikTok、Clubhouse、Zoom など	全世界	20世紀後半~
翻訳機	自動翻訳機の発明・普及...初めは光学的文字読み取り。文字の音声化。音声入力の間き取りデジタル化。多言語の自動翻訳。犬猫鳴き声の翻訳。 など	全世界	20世紀~
電子文字時代	SNSと電子時代なので、これからは、全世界に通じる絵文字、ピクトグラム、各個別集団内独自絵文字、QRコード等が増えるだろう。日本発信『EMOJI』の時代が来る。	ネット増加普及	20世紀末~

他に、ツールとして、映像、アイコン、メール受信号、手旗信号、点字、手話、テレビペンなど様々なものがある。